

2-10 仕事

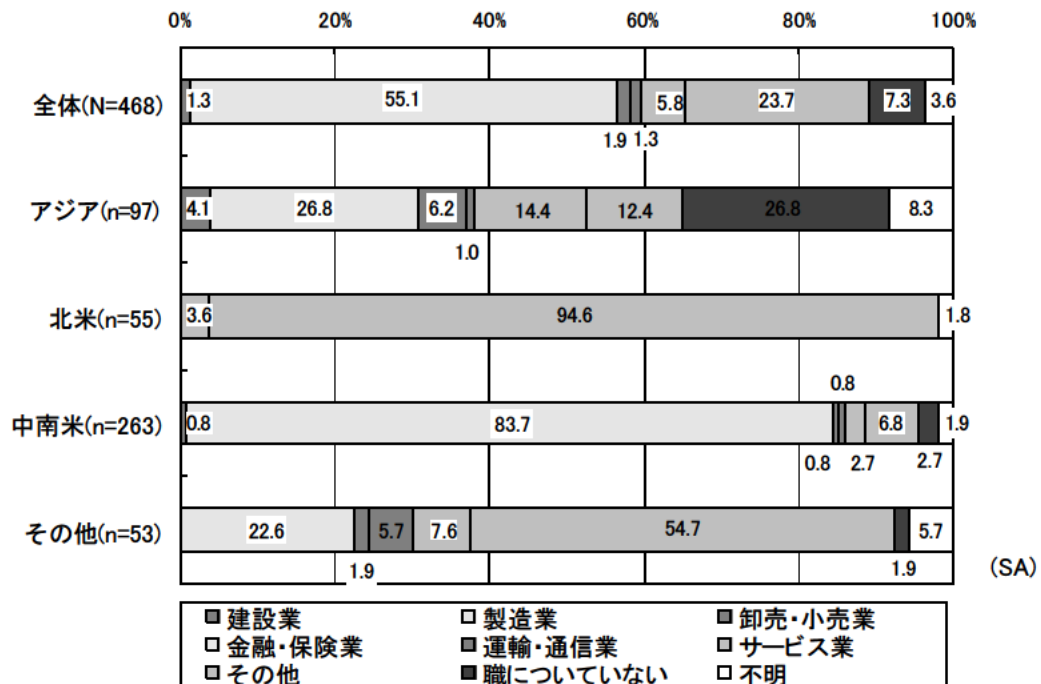
(1) 職業

<全体>

現在している仕事についてみると、製造業が55.1%と多い。女性についても仕事をしている方が多いため、無職は7.3%と少ない。「その他」のほとんどはJETプログラムの研修生)

<地域別>

アジア出身者の職業をみると、製造業と無職（共に26.8%）が多いが、サービス業（14.4%）など、他の職業に就いている回答者もみられるが、中南米出身者では、ほとんどが製造業となっている。



○質問

現在どんな仕事についていますか。(単一回答)

(2) 就労形態

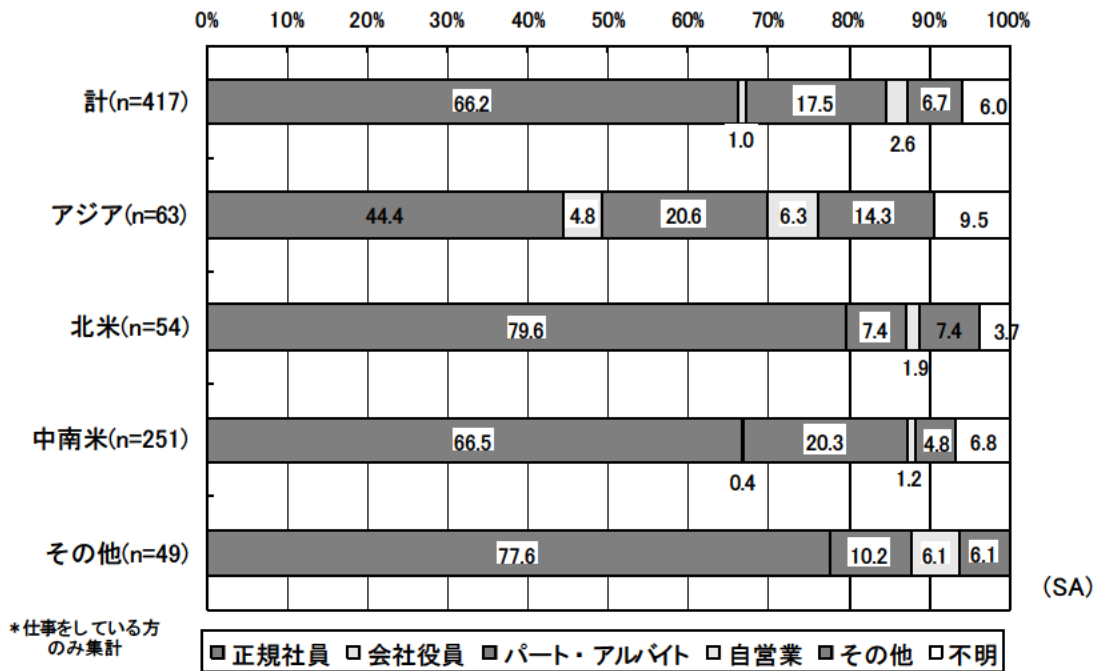
<全体>

就労している回答者の職種をみると、正社員が66.2%と3分の2を占めており、次いでパート・アルバイトが17.5%と多い。

<地域別>

アジア出身者についてみると、正社員が44.4%と最も多いものの、他地域の出身者に比べて少なくなっており、会社役員、自営業、その他の職種が他地域出身者より多くなっている。

また、中南米出身者では、正社員は66.5%であるが、パート・アルバイトの割合が20.3%と、他地域に比べて多い。



○ 質問

職場でのあなたの就労形態。(単一回答)

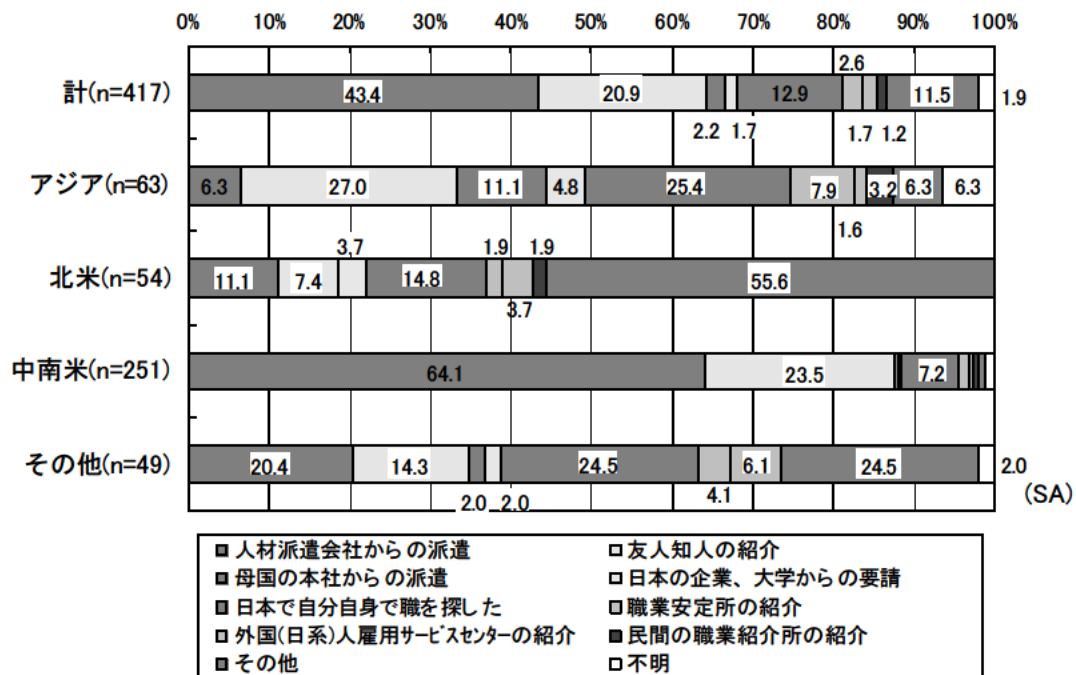
(3) 就職の経緯

<全体>

現在の職についた契機としては、「人材派遣会社からの派遣」が 43.4%と最も多く、次いで「友人知人の紹介」が 20.9%と多い。

<地域別>

アジア出身者では、「友人知人の紹介」(27.0%)、「日本で自分自身で職を探した」(25.4%)という回答割合が多く、また、他の方法により就労している者もみられる。一方、中南米出身者では、「人材派遣会社からの派遣」(64.1%)が多く、「友人知人の紹介」(23.5%)の2方法以外の方法は少ない。



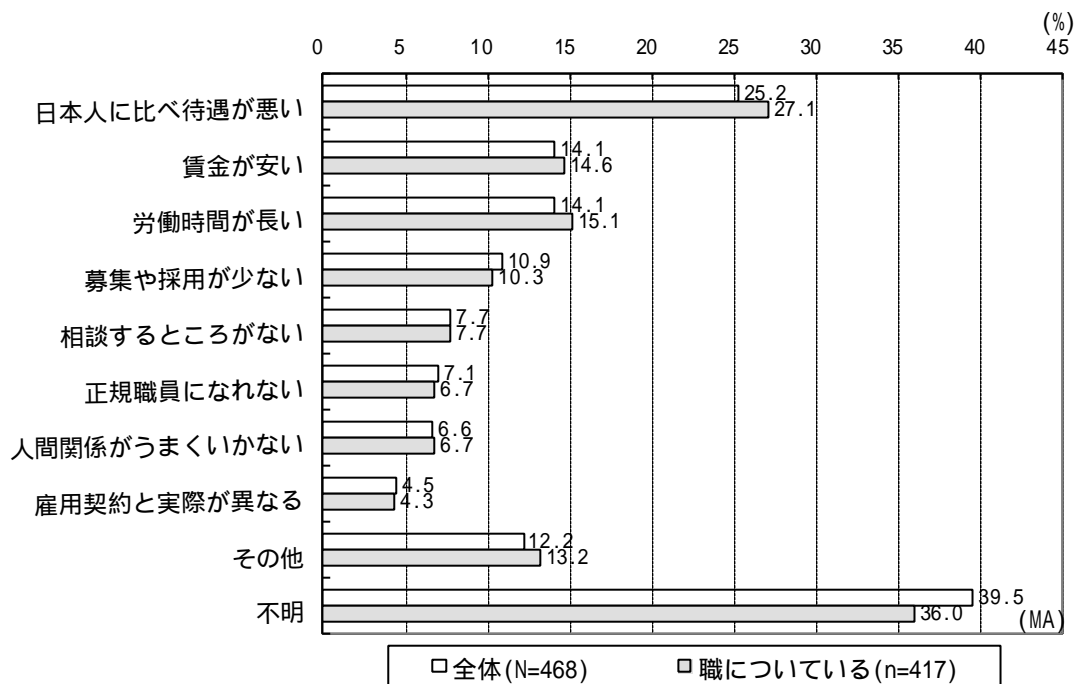
○質問

現在の職についたきっかけは何ですか。(単一回答)

(4) 仕事に対する不満

日本で仕事をするうえでの不満として、「日本人に比べて待遇が悪い」ことをあげた者が、全体の25.2%、就労している者の27.1%を占めており、最も多い。

また、「相談するところがない」(全体の7.7%、就労している者の7.7%)、「雇用契約と実際が異なる」(全体の4.5%、就労している者の4.3%)という回答もみられる。



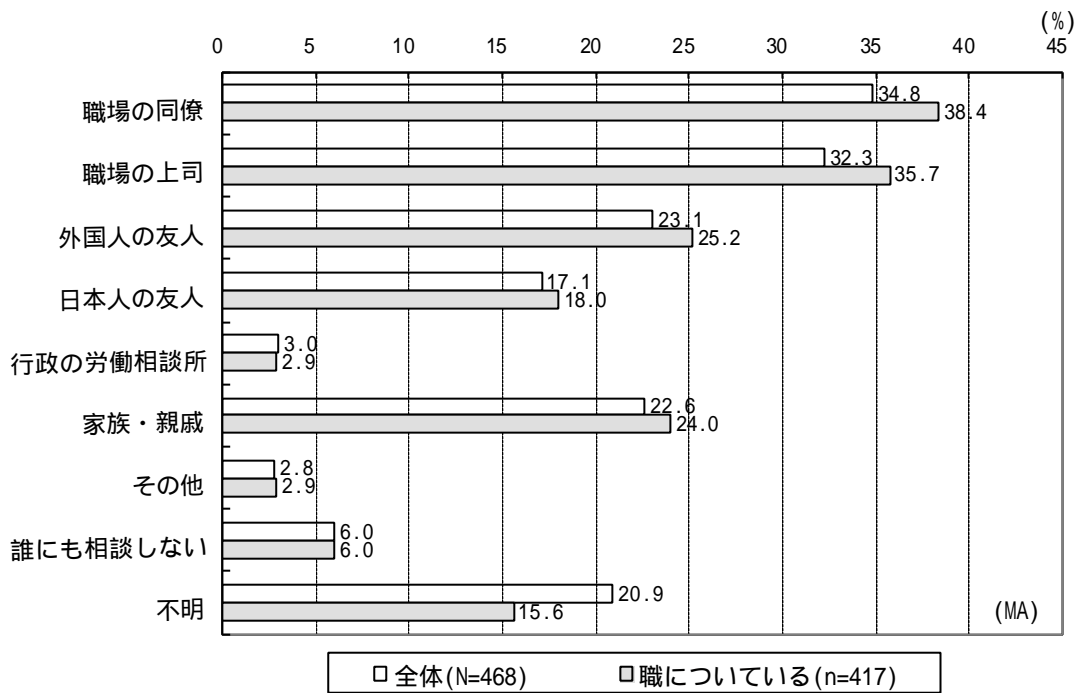
質問

日本で仕事をするうえで不満はありますか。(複数回答)

(5) 仕事に関する相談先

仕事上の悩みは、職場の関係者（「職場の同僚」、「職場の上司」）に相談するという回答が、就労者の4割弱となっており、「外国人の友人」「家族・親戚」よりも多い。

また、2割弱の回答者が「日本人の友人」に相談するとしている。



質問

仕事の悩みは誰に相談しますか。(複数回答)